

FAX-OCR/配信ソフトウェア

FOCS

Facsimile OCR and communications software

御紹介資料

APCOT

FOCSの特徴

FOCSは、1986年に発表して以来、500ユーザー、700セット以上の導入実績を誇る FAX-OCR・配信用の業務向けパッケージソフトです。OCR(受信)と配信に分かれており、1回線から50回線以上の大規模システムまで、ノンカスタマイズで構築することが可能です。

受信

FOCSの最大の特徴は、FAX-OCRの第一目的である作業工数を削減するための数多くのツールキットを搭載していることです。そのため、他のFAX-OCRシステムには見られないユニークな機能を見ることができます。もちろん、OCRは最新のニューラルネットワーク技術で作成されています。FOCSは、長年の技術、経験、ノウハウの集大成であり、最先端のソフトウェアパッケージです。

配信

FOCSの配信システムの特徴は、1文書1宛先に送信する「順次送信」であることです。さらに、OCR(受信)と同様に、作業工数を削減するための数多くのツールキットを搭載しています。ノンカスタマイズで全自動化する機能も備えています。

概要

受信

- コンピュータ上で集められているため、伝票を収集しなくてもよい
- 入力処理しなくてもよい(OCR処理自動化)
- 自動チェック機能により、目視チェックの必要がなく、
チェックエラーのものだけを確認すればよい
- ペーパーレス(イメージとしてPCに保存)
- 工数・人件費の削減



配信

- コンピュータより送信されるため、伝票を出力しなくてもよい
- 複数の相手先、複数の伝票フォームを自動送信
- リアルタイム送信(即時送信)
- 工数の削減・順次同報



業種別活用事例



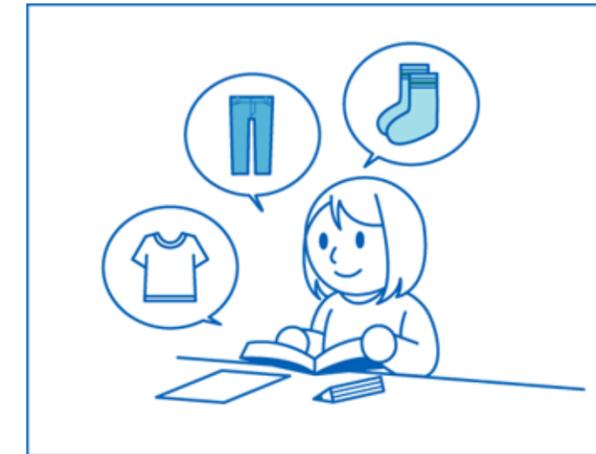
食品製造業様向け

FAX受注システム
在庫管理システム(棚卸データ収集)



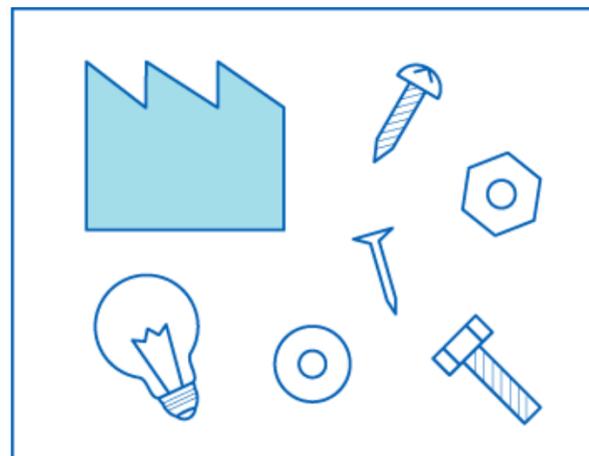
JA様向け

組合員出荷情報収集システム
農薬受付システム



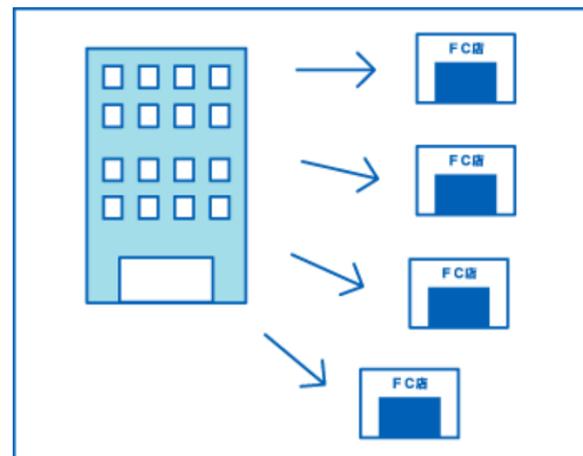
カタログ販売店様向け

FAX受注システム(リピート用)
はがきOCRシステム(リピート用)



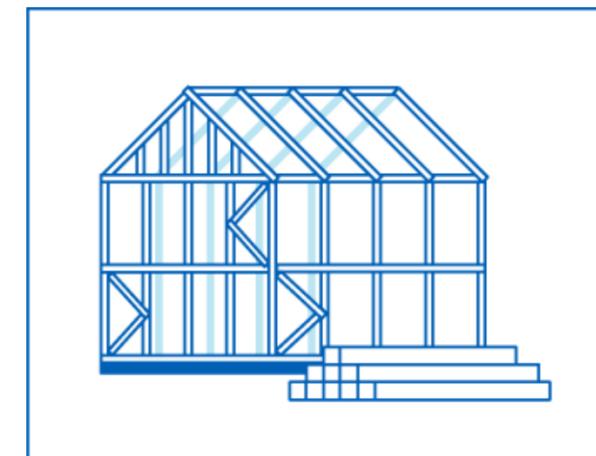
製造業全般様向け

FAX自動発注システム(部品・原材料他)
製造指図書配信システム
簡易・資材購買システム



FC店様向け

日報情報収集システム
仕入情報収集システム(店舗→本部)

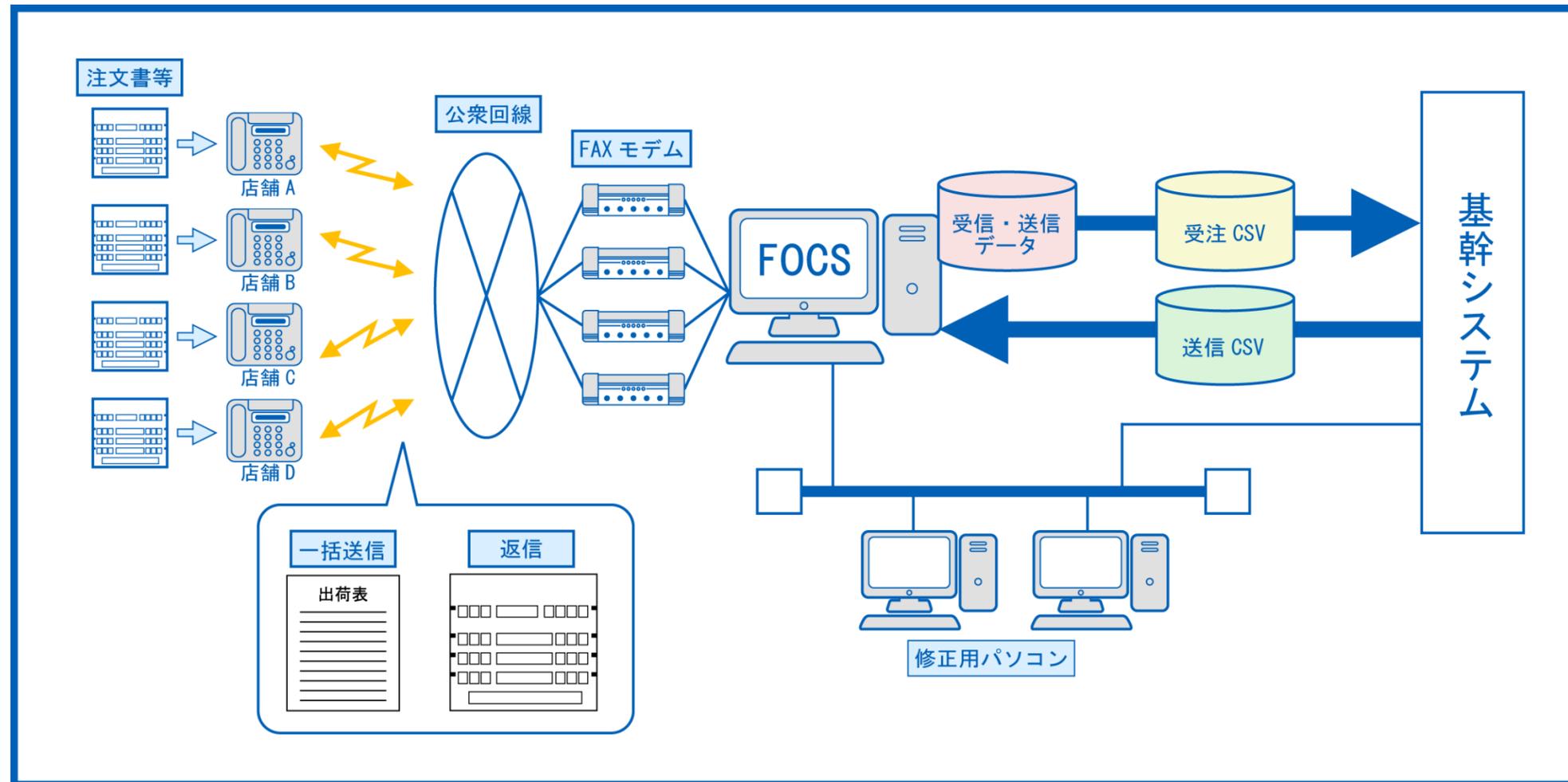


建築業様向け

市場出荷予定情報配信システム
支払通知書FAX配信システム

システム構成

ハード構成



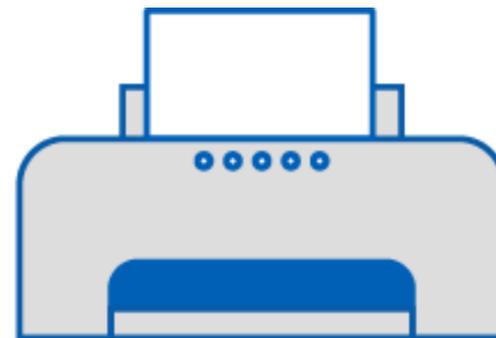
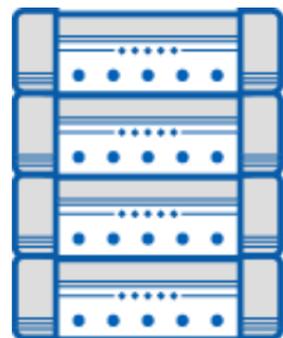
FOCSの受信システムなら、FAXで送られてくる注文書をそのままコンピュータに取り込み、イメージデータとして管理することができます。

FOCSの送信システムでは、最大4回線を使用し、複数の相手先に順次同報が可能です。

基幹システムとデータ連携し、作成した書類(テキスト形式、CSV形式)を複数の相手先への連続配信が可能です。

ハード構成例

名称	型式	備考	
本体		CPU	OSの推奨するCPU以上
		メモリ	OSの推奨するメモリ以上
		ディスプレイ	17インチ(1,024×768の解像度)以上
		HDD	30GB以上
		マウス	バスマウス標準添付
		拡張スロット	1スロット(RS-232C増設ボード用)
		インストールOS	Microsoft Windows7 / Windows10
プリンタ		ページプリンタ	
FAXモデム	REX-C56EX (ラックシステム社)	通信方式	全二重通信方式
	DFML-560ER (I-Oデータ社)	通信速度	最大14,400bps



受信機能の紹介

FAXの手書き英数字を自動OCR処理し、コンピュータ情報にコンピュータ化、効率化が進む中で、取り残された業務が数多くあります。

取引先やお客様からの伝票を直接パソコンで受け、自動処理ができれば入力の手間を軽減でき、業務も大きく効率が上がります。

APCOT

1. ファクシミリで送信されてきた手書き文字を認識し、コンピュータのデータとして加工・編集が可能です。
2. コンピュータがOCR原稿とファクシミリの手書き伝票を自動判断するため、全て画面上で受信内容を確認できます。(ペーパーレスの強化)
3. 通常運用時のキーボード入力は、「認識結果の修正」と「認識結果の蓄積」のみのため、入力作業の軽減がはかれます。
4. CTI対応により、相手先名が表示されるため、どこから来ていて、どこから来ていないのかが明確です。
5. ファイン標準モード共に(8×7.7)にて、高い認識率を誇ります。
※ 対照ファクシミリは、ITU(国際電気通信連合)の勧告に基づいたG3ファクシミリとします。

受信メニュー

受信No.	Port	受信日時	発信元	ページ	処理状況	原稿	不読数	修正回数
01-000019	1	17/10/17 14:02:17	0333518633	1/ 1	修正可	・【08:注文依頼書】	3	1
01-000018	1	17/10/17 13:25:22	0333518633	1/ 1	修正可	・【08:注文依頼書】		1
01-000017	1	17/10/17 11:48:18	0333518633	1/ 1	修正可	・【08:注文依頼書】		1
01-000016	1	17/10/17 11:31:20	0333518633	1/ 1	修正可	・【08:注文依頼書】	4	1
01-000015	1	17/10/17 10:52:21	0333518633	1/ 1	削除原稿			
01-000014	1	17/10/17 10:31:47	0333518633	1/ 1	修正可	・【08:注文依頼書】	2	1
01-000013	1	17/10/17 09:17:53	0333518633	3/ 3	修正可	・【08:注文依頼書】	2	1
01-000012	1	17/10/17 09:17:16	0333518633	2/ 3	修正可	・【08:注文依頼書】	1	1
01-000011	1	17/10/17 09:16:40	0333518633	1/ 3	修正可	・【08:注文依頼書】		1
01-000010	1	17/10/17 09:06:19	0333518633	2/ 2	修正可	・【08:注文依頼書】		1
01-000009	1	17/10/17 09:05:45	0333518633	1/ 2	修正可	・【08:注文依頼書】	12	1
01-000008	1	17/10/17 09:02:10	0333518633	1/ 1	修正可	・【08:注文依頼書】	14	1
01-000007	1	17/10/17 08:55:57	0333518633	1/ 1	修正可	・【08:注文依頼書】		1
01-000006	1	17/10/16 17:08:52	0333518633	1/ 1	修正可	** (13)フォーマット未登録		0
01-000005	1	17/07/15 21:57:49	0333518633	2/ 2	修正可	・【08:注文依頼書】		1
01-000004	1	17/07/15 21:57:27	0333518633	1/ 2	修正可	・【08:注文依頼書】	1	2
01-000003	1	17/07/15 21:56:25	0333518633	3/ 3	修正可	・【08:注文依頼書】		1
01-000002	1	17/07/15 21:56:01	0333518633	2/ 3	修正可	・【08:注文依頼書】	2	1
01-000001	1	17/07/15 21:55:38	0333518633	1/ 3	修正可	・【08:注文依頼書】		1

FOCSは、オペレータの操作簡素化、工数削減を目標に設計しています。

このため、メニュー画面を見れば自分の作業量がわかります。

また、オペレーションミスを防ぐために、作業をバッチ化することが可能です。

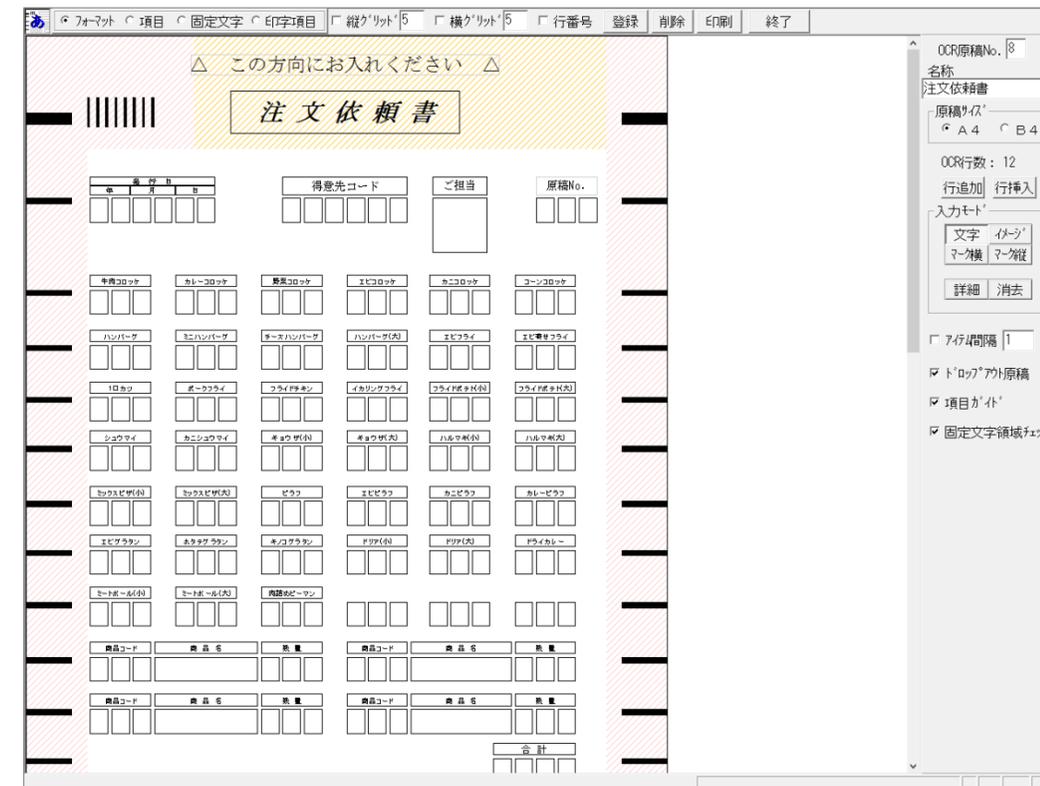
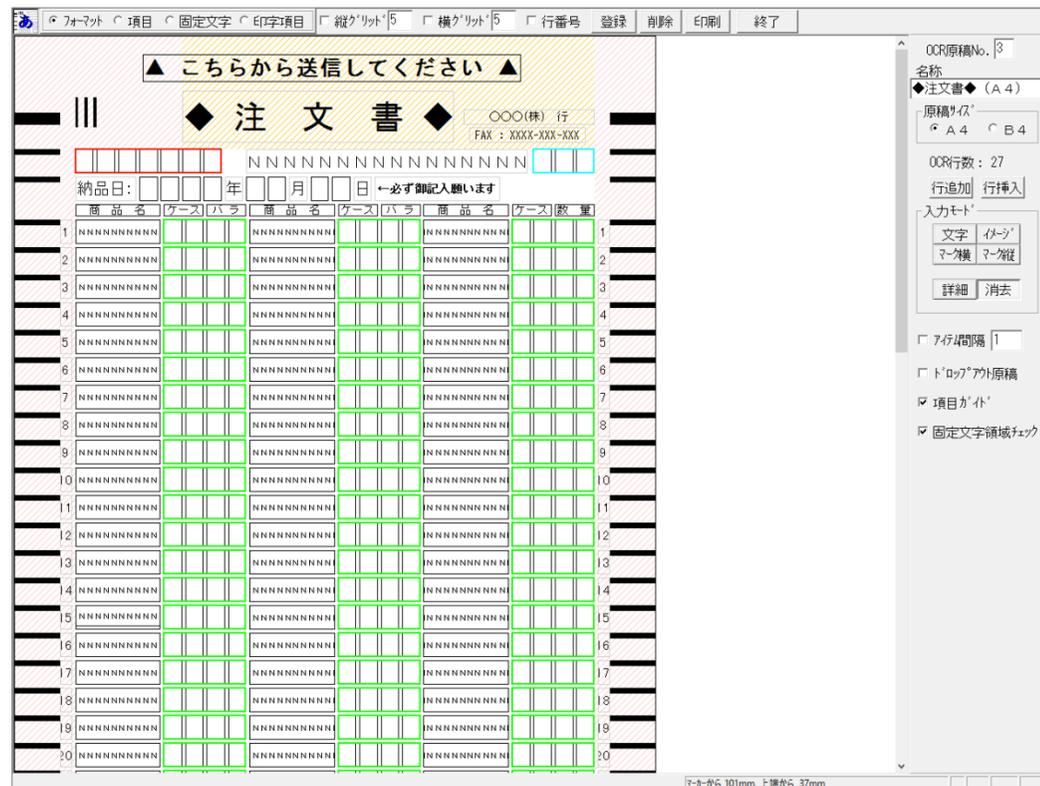
バッチ化をすることによって、オペレータは認識結果確認と蓄積データ作成の2つのボタンを押すだけで処理できますので、どなたでも操作可能です。

受信メニュー

- 受信No
端末No(2桁)－受信番号(6桁)
- port
受信した回線番号(1桁)
- 受信日時
受信が完了した日時(1通信ごと/日、時、分)
- 発信元
発信元のFAX番号・発信元名の表示 登録されていない場合は、表示されません。
NTTのナンバーディスプレイ契約必須です。
- ページ
1通信でのページ数(ページ/総ページ)
- 原稿
認識できた場合、対応するOCR原稿名称を表示。
OCR原稿以外の場合、不能となった理由を表示。
- 不読数
認識できた場合のみ、読めなかった文字数を表示。
全て読めた場合は表示できません。
- 修正回数
認識できた場合のみ、修正を行った回数を表示。
修正中に中断した場合はカウントされません。
- 処理状況
「FOCS」の処理状況
 1. 未処理...受付は完了していて認識処理されていない。
 2. 修正可...認識処理完了。修正可能。蓄積可能。
 3. OCR原稿...認識処理完了。
OCRフォーマットと判断できない場合は、理由が「原稿」欄に表示されます。
 4. 削除原稿...削除原稿。蓄積はされない。

OCR処理

原稿用紙のフォーマット作成



フォーマット

- 文字: 数字、英文字、混在
- イメージ
- マーク(縦、横)

項目

- 対象項目の設定
- チェックデジットの設定
- 合計チェックの設定

固定文字

- 固定文字の入力・消去

印字項目

- 得意先コード
- ページ番号
- 商品コード

受信フォーマット

OCR認識用の手書き伝票の文字、マーカの位置情報定義

1. OCR原稿No.の設定(00~99)100種類
2. OCR原稿名称の設定(メモ)
3. OCR原稿サイズの設定(A4 or B4)
4. OCR行数の設定
5. アイテム(文字、イメージ、マーク横、マーク縦)の登録
6. アイテムの削除
7. OCR登録済み行のコピー
8. 登録位置をイメージ表示で確認
9. ガイドメッセージ欄での補助説明
10. アイテムをダブルクリックで、位置情報を設定
11. 登録時にOCR原稿No.を変更可能(修飾利用)

OCR原稿の規格

原稿サイズ	種別	A4, B4縦方向
	A4 最大値	横24文字(OCR) 縦26行
	B4 最大値	横31文字(OCR) 縦32行
イメージ処理(最大値)		横170mm×縦150mm 最大50個(A4)
		横217mm×縦105mm 最大50個(B4)
認識対象		数字(0~9)、+、-、マーク、英文字(大文字)
OCR、OMR合計		最大1,000個
原稿種類(フォーマットの登録数)		最大100種類
文字枠	OCR用紙	ドロップアウトカラー
	普通紙	点線
紙質		OCR用紙、上質紙、普通紙
タイミングマーク		有(左右15mm)

マスタ保守

事前印刷

原稿No 03

得意先指定

得意先コード順 得意先名順

指定先のみ 0000000000 サンプル得意先 参照...

範囲指定 [] から [] サンプル得意先 参照...

ページ指定

指定ページのみ 000

範囲指定 000 から 000

部数 1

印刷日 2017/11/10

印刷 終了

事前印刷用マスタ保守

得意先マスタ

商品マスタ

商品グループマスタ

打ち出しマスタ

終了

商品マスタ

商品コード	商品名1	商品名2
0000000002	サンプル商品 2	
0000000003	サンプル商品 3	
0000000004	サンプル商品 4	
0000000005	サンプル商品 5	

商品コード 0000000001 登録 登録 複製

商品名1 サンプル商品 1

商品名2

追加 修正 削除 印刷 終了

受信フォーマット事前印刷

打ち出しファイルを参照してOCR原稿の印刷を行います。

1. 商品コード群を登録順に印字
2. 条件として「原稿No.」「ページ」「得意先コード」を指定可能
3. 部数指定可能

マスタ保守

ナンバーディスプレイ用のFAX番号(得意先)、OCR事前印刷のための商品マスタの登録を行います。

1. 「得意先マスタ」の追加、修正、削除
2. 「商品マスタ」の追加、修正、削除
3. 「商品グループマスタ」の追加、修正、削除
4. 「打ち出しマスタ」はOCR原稿に掲載する商品グループを得意先毎に登録します。

認識結果確認



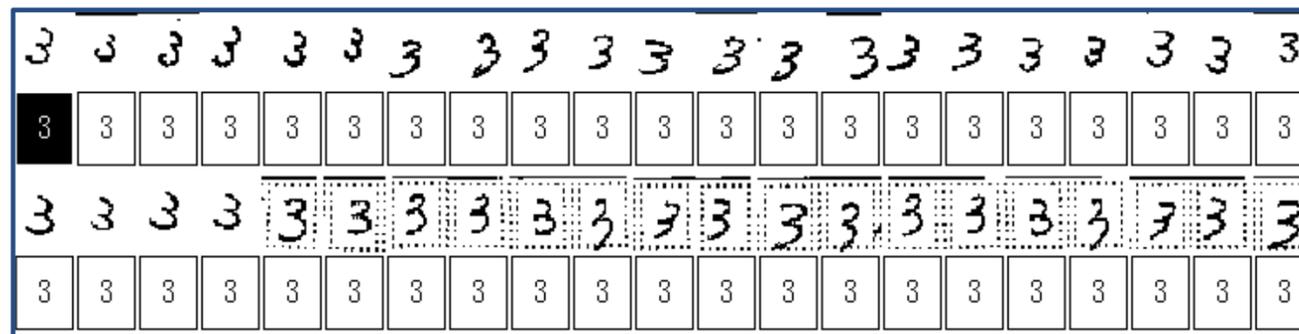
不読文字 簡単一括修正

受信したすべてのOCR原稿の中に発生した不読文字のみを抽出して、画面上に表示する機能です。

ここでの他の機能として、

- 原稿表示でどの原稿かも簡単に把握。
- 上段のイメージを見ながら修正が可能。

1枚1枚原稿を確認・修正する工数を考え、一括画面表示することにより、多量の原稿を短時間でクリーンなデータに修正し、工数の削減を可能としました。



文字指定で誤読確認・修正

受信したすべてのOCR原稿の中で認識した文字から(数字を指定した場合は“0”と認識した文字から)順番に表示していきます。

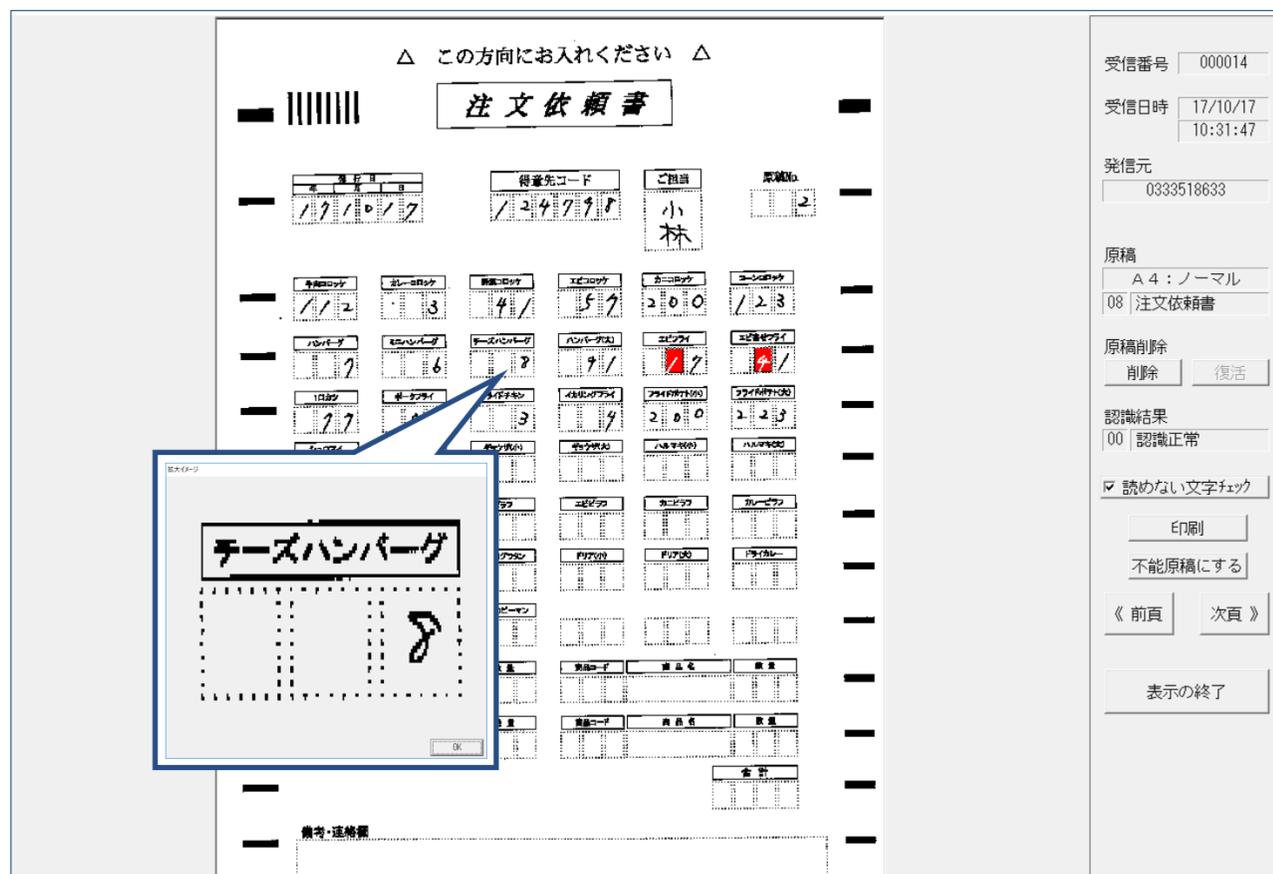
これにより、誤読した文字を簡単に見分けることができます。

また、修正することも可能です。

イメージ表示

受信原稿のイメージを表示します。
 あたかも受信した原稿が手元にあるかのように、簡単に表示できるため、ペーパーレスの強化にもつながります。

拡大したい位置をドラッグすることでイメージの部分拡大が可能。



一枚修正

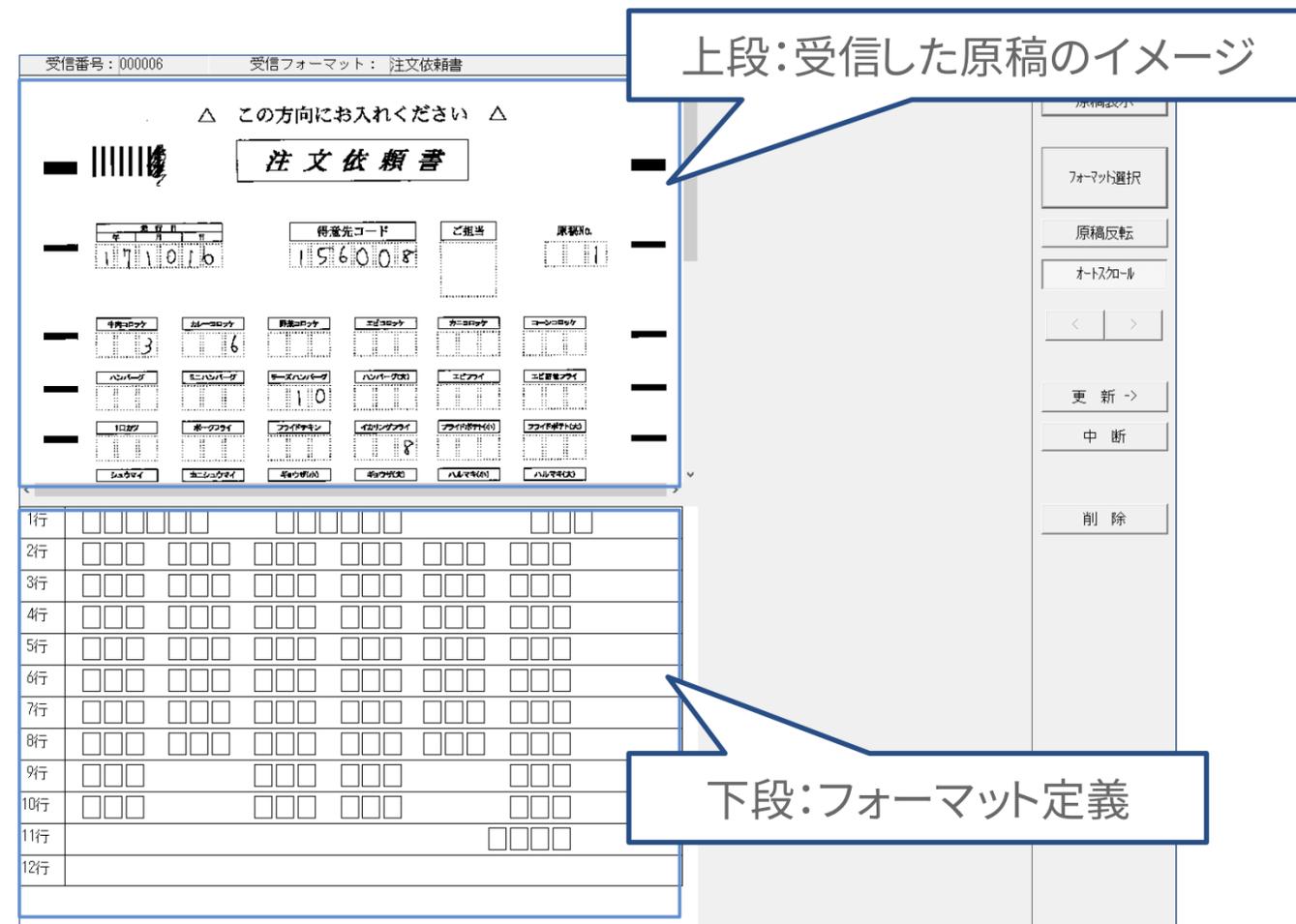
受信イメージ(上段)と認識結果(下段)を並べて表示し、不読文字・誤読文字等の修正ができます。

受信番号: 000014		受信フォーマット: 注文依頼書	
1行	7 1 0 1 7	1 2 4 7 9 8	小林
2行	1 1 2	2 0 0	1 2 3
3行			
4行	7 7	5 1	3 9
5行			
6行			
7行			
8行			
9行			
10行			
11行			

The table displays a grid of characters from a scanned document. The top row shows the original image (left) and the recognition result (right). A callout box labeled "原稿のイメージ" (Original Image) points to the original image, and another callout box labeled "認識結果" (Recognition Result) points to the recognition result. The recognition result shows some characters as "X" (unreadable) and some as "0" (misread).

不能原稿入力

読みとれなかった原稿(斜行しているもの、OCR原稿以外のもの...etc)は、イメージを見ながら、データ入力が可能です。
プリント出力する手間が省け、スピーディにデータを入力することができます。
また、改めて、送信先に再送信していただく必要もありません。



[原稿情報]

現在表示されている原稿の詳細を表示

[オートスクロール]

ON:下段のカーソルを移動させることにより、

上段のイメージもスクロールする

OFF:下段のカーソルを移動させても、

上段のイメージはそのまま

[原稿の反転]

上段のイメージを180°回転

[フォーマット選択]

現在登録してあるフォーマットの一覧を表示

[更新]

原稿ごとにデータを保存

[終了]

処理を終了し、FOCSメニューへ

蓄積データ作成

「認識結果確認」により、修正・確認作業が終わったコードデータを結果データとして蓄積します。

1. 蓄積ファイル名は任意に決定
2. クリエイト蓄積及びアペンド蓄積の指定が可能
3. 蓄積範囲の制定が可能
 - 日付範囲の指定 99年99月99日～99年099月99日
 - 時間範囲の指定 99時99分～99時99分
 - OCR原稿IDの指定 99～99
 - 受信番号の指定 999999～999999
4. 一度蓄積した結果データの再蓄積が可能
5. TXT(固定長の文字列)もしくはCSV(カンマ区切りの文字列)の選択が可能
6. 1枚1ファイルによるリアルタイムデータ蓄積が可能
7. 受信フォーマット作成で指定したイメージ領域をBMP形式で蓄積が可能

印刷

ファクシミリの手書き伝票の認識結果を、プリンタ印字で確認できます。

1. ファクシミリ受信原稿をそのままの状態プリントアウト
2. 手書き文字イメージと認識結果を上下に並べてプリントアウト
3. 印刷範囲が受信日時で設定可能
4. 指定原稿IDのみの抽出印字が可能
5. 認識不能原稿抽出印字が可能
6. 不読(読めない)文字がある原稿のみ抽出印字が可能
7. 自動印刷機能有り

受信履歴

リアルタイムに受信状況を表示します。

1. 履歴印刷可能
 - 受信番号の指定 9999999~9999999
 - 日付範囲の指定 99年99月99日~99年99月99日
2. 受信番号・日時を指定することにより検索可能
3. 受信履歴ログをダブルクリックして、原稿イメージ表示可能

配信機能の紹介

伝票や資料の送付を自動処理

コンピュータ化、効率化が進む中で取り残された業務が数多くあります。

伝票を直接パソコンで取引先やお客様、本社支店間で自動送信処理ができれば大きく効率が上がります。

APCOT

1. ホストコンピュータ内で使用しているデータをファクシミリの原稿に編集加工して、そのまま送信することができます。
2. ファクシミリをコンピュータのリモートプリンタとして利用できます。
3. 罫線、固定文字を事前に登録し、ホストデータと結合して送信できます。(フォームオーバーレイ)
4. 鮮明な画質でのファクシミリ送信が可能です。
5. 送信先がビジーの場合、リトライ回数で設定した回数分、再送処理を自動で行います。
6. 登録された全ての送信先への送信や、グループ指定の順次同報送信が可能です。

配信メニュー

The screenshot displays the '配信履歴' (Transmission History) window in the FOCS for Windows ver1.60 application. The window title is 'FOCS for Windows ver1.60' and it shows the date '17/12/10' and time '17:26'. The main area contains a table with the following data:

送信No.	相手先	相手先名	総ページ	サイズ	処理状況	再送	送信結果	正常数	完了日時
000005	0822961199	テスト会社1	001	A4	処理完了	0/0	(0000)正常	001	12/10 11:14:52
000004	0822961199	テスト会社1	001	A4	処理完了	0/0	(0000)正常	001	12/10 09:11:12
000003	0822961199	テスト会社1	001	A4	処理完了	0/0	(0000)正常	001	12/10 08:10:51
000002	0822961199	テスト会社1	002	A4	処理完了	0/0	(0000)正常	002	12/09 17:11:21
000001	0000000001	テスト会社	001	A4	送信不能	0/0	(0006)ダイヤルトーンなし	000	12/09 16:24:33

Below the table, there are buttons for 'イメージ表示' (Image Display), '再送信' (Resend), '1枚印刷' (Print 1 page), and '最新情報を表示(ON)' (Show latest information (ON)).

The bottom section of the interface includes a status area on the left showing '待機中' (Standby) and 'COM 4'. The main control area has tabs for '受信用メニュー①', '受信用メニュー②', '配信用メニュー①', '配信用メニュー②', and 'システム設定'. Under the '配信用メニュー①' tab, there are buttons for '送信データロード' (Load transmission data), '送信指示' (Transmission instruction), and '履歴印刷' (Print history). At the bottom, there are buttons for '一時停止' (Pause), '処理再開' (Resume processing), and 'メニューの終了' (End menu).

- 「イメージ表示」「送信待ち」もしくは「送信完了」の原稿イメージを画面上で確認できます。
- 「再送信」送信履歴画面の表示ログから容易に再送信が可能です。
また、送信ファックス番号を変更できる機能もついています。
※ リアルタイム配信設定時のみ
- 「1枚印刷」送信したFAXのイメージを印刷します。

配信メニュー

- 送信No

送信番号(6桁)

- port

送信した(する)回線番号(6桁)

- 送信完了日時

送信が完了した日時。未完了の場合は表示されません

- 相手先

送信した(する)FAX番号

- 原稿

送信した(する)フォーム番号

- 総ページ

1通信での総ページ

- 処理状況

「FOCS」の処理状況

1. 未処理...原稿作成はまだされていない。
2. 作成完了...原稿作成処理完了。送信可能。
3. 送信処理中...送信処理中。リトライ待ちの場合もこの表示のまま。
4. 送信完了...送信完了。
終了状態が「送信結果」欄に表示される。
5. 送信不能...再送回数オーバー。以降再送はされない。
6. 削除原稿→削除原稿。復活不可。

- 送信結果

送信が完了したときの終了状態を表示

FAX配信

FOCSの配信は、相手先によって内容の異なる文書を一括送信することができます。
送信フォーム(FDF)、データ定義(DDF)を登録することによってノンカスタマイズで簡単に構築することができます。

- ① 注文書(購買窓口→取引先)
- ② 注文請書(営業→お客様)
- ③ 見積依頼書(購買窓口→購入先)
- ④ 出荷情報(配送窓口→営業)
- ⑤ 商品情報(営業窓口→お客様)

その他 いろいろ

送信フォーム(FDF)

送信原稿をワープロ同様の簡単な操作で文字や罫線、カナでの固定情報を設計します。さらに、DDFで定義されたデータを印字したい位置に指定します。

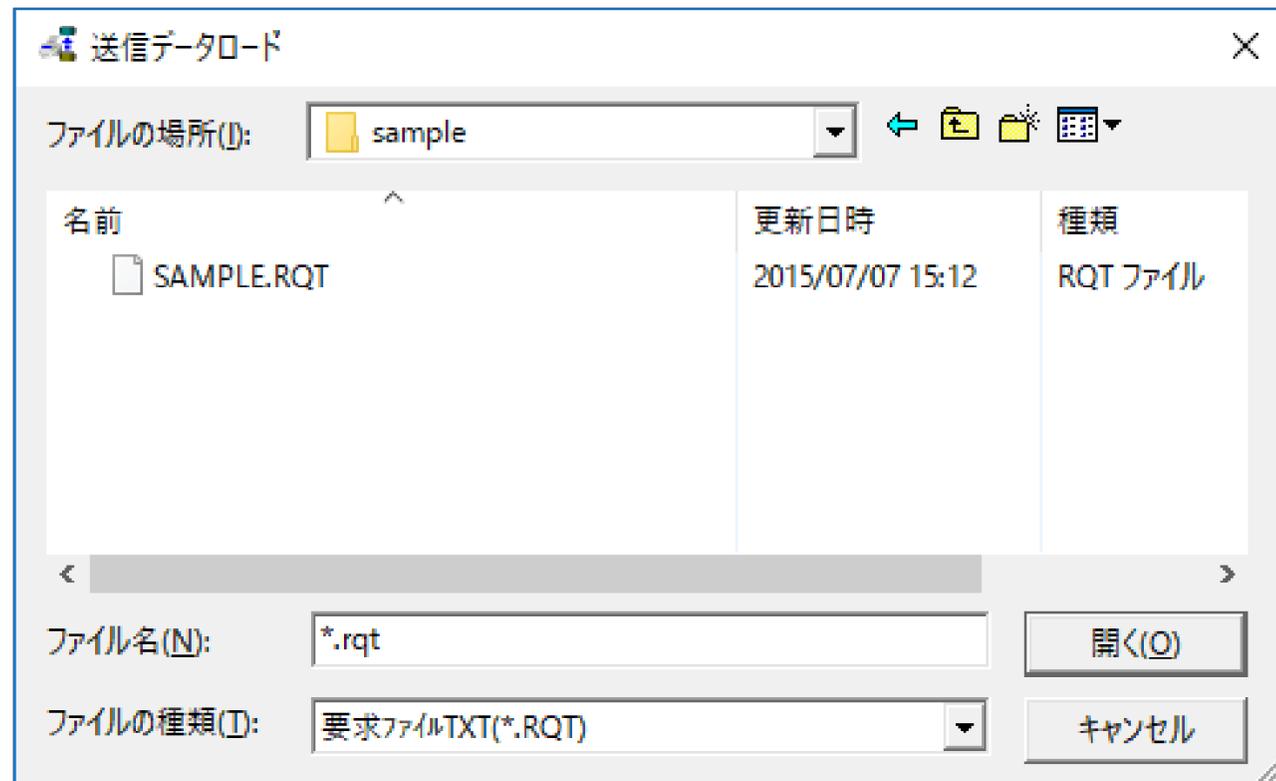
データ定義(DDF)

送信データの中身をFOCSに知らせます。
例えば、どこにFAX番号があるのかといった情報です。

便利な機能

- ・ 送信に失敗した原稿をプリンターへ自動出力
- ・ 送信に失敗した原稿を個別再送(FAX番号もかえられます)
- ・ 過去の送信イメージの表示
- ・ A4, B4横の設定

送信データロード

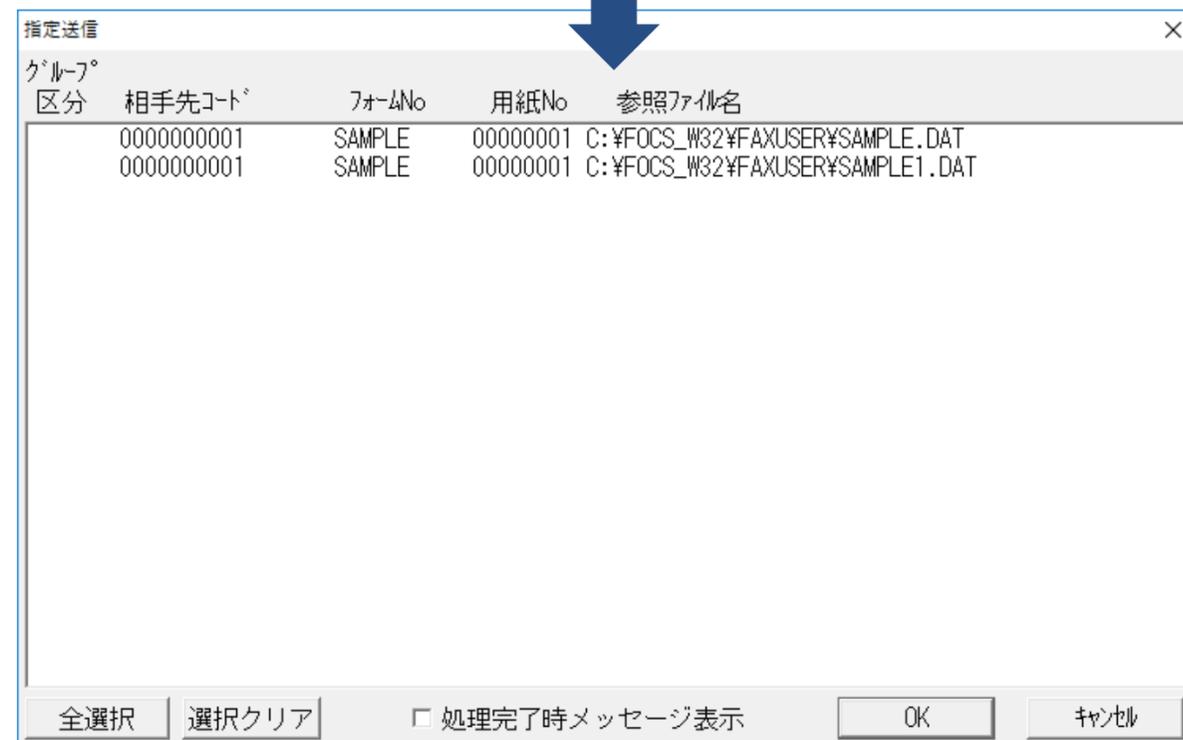
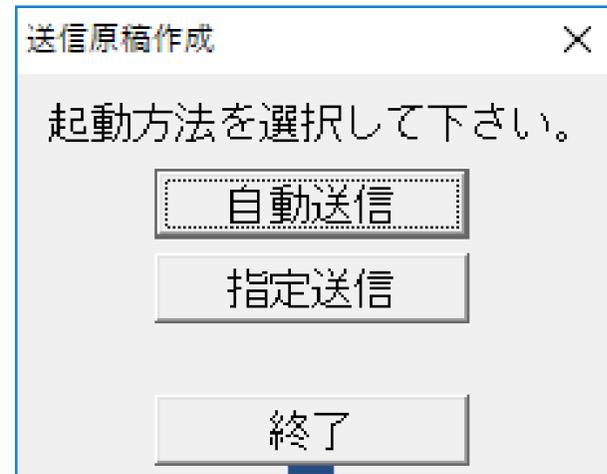


コンピュータのデータを使用し、ファクシミリ送信の処理を行います。送信指示を画面上で行うだけで、ファクシミリ送信を開始します。実際の送信はバックグラウンドの「FAX送信」が監視します。

送信要求ファイルをFOCSの配信用の要求ファイルとして結合します。自動送信の場合は、設定されているフォルダーにデータを出力するだけです。

1. 送信要求ファイル データファイルの作成完了を通知し、送信開始を通知し、送信開始を促すために必要
2. ユーザーデータファイル 送信原稿レイアウト上に配置する明細
3. 配信用データのファイル名はユーザー任意
4. トータル件数(相手先、枚数)表示

送信原稿指示&作成



これから送信したい原稿をコンピュータに対して指示します。自動送信は不要です。

送信指示の種類は使用目的によって指定可能です。以下のような送信方法が可能です。

1. 自動送信...作成済みのユーザーデータをすべて送信します。(時間指定有)
2. 指定送信...送信したい原稿を選択し、送信します。
3. リアルタイム送信...ホストからのデータをリアルタイムに送信します。
4. グループ指定による順次同報送信可能

「OK」送信原稿イメージを作成し、送信を開始

「キャンセル」送信は開始せず、メイン画面に戻る

送信履歴

配信状況を画面上で確認できます。また、送信待ちの原稿についてはイメージ表示や削除もできます。

1. 相手先マスタの内容が確認可能
2. 送信用データ削除
3. 送信エラー内容表示

送信原稿設計

送信データ定義

配信用のデータのファイル定義を行います。
ここで定義した定義情報と対応させて送信レイアウトの設定も行われます。

1. データ定義番号の設定(00~99)
2. データ定義名称の設定(メモ)
3. 項目の改装レベルの設定(項目の繰り返し指定の対応)
4. 定義した内容をプリンタ印刷で確認
5. 各項目の開始位置は登録時に自動計算
6. 登録時にデータ定義番号を変更可能(修飾利用)

送信データ定義編集

定義番号 定義名称

コート識別	項目 ID	階層	項目名	タイプ	桁数	符号	小数点	繰り返し
D1	160	*----	総数単位	英数	004			
D1	170	*----	単価	英数	012			
D1	180	*----	金額	英数	009			
D1	190	*----	納期	英数	016			
D1	200	*----	注文番号	英数	020			
F1	001	*----	グループ区分 (必須)	英数	001			
F1	002	*----	相手先FAX番号 (必須)	英数	016			
F1	003	*----	フォーム番号 (必須)	英数	010			
F1	004	*----	用紙番号 (必須)	英数	008			
F1	005	*----	定義番号 (必須)	英数	002			
F1	006	*----	コート識別子 (必須)	英数	002			
F1	007	*----	相手先FAX区分 (必須)	英数	001			
F1	008	*----	着信後の待ち (必須)	英数	002			
F1	009	*----	システム確保領域 (必須)	英数	008			
F1	010	*----	相手先名	英数	030			
F1	100	*----	備考	英数	040			
F1	110	*----	合計	英数	010			

追加
修正
削除
登録
キャンセル

送信原稿設計

送信レイアウト定義

配信用の原稿のレイアウト定義を行います。
送信データ定義に設定済みの項目を対応させて、
送信レイアウトに張り付ける設定が可能です。
また、罫線等の固定部分の定義もここでを行います。

1. フォームNo.の設定
2. フォーム名称の設定
3. 用紙サイズの設定 (A4 or B4)
4. 使用するデータ定義番号の設定
5. レイアウト区分の設定
6. レイアウト区分により、入力項目が決定される
7. 定義した内容をプリンタ印刷で確認

8. 作成中のレイアウトを画面表示で確認可能
9. 登録時にフォームNo.を変更可能中のレイアウトを画面表示で確認可能

送信レイアウト定義

レイアウトの種類

用紙サイズ	種別	A4, B4 縦・横	
	A4	用紙縦：横 110カラム 縦 62ライン	用紙横：横 156カラム 縦 44ライン
	B4	横 136カラム 縦 72ライン	横 192カラム 縦 50ライン
印字	種類	英数、カナ、漢字(JIS第1、第2水準)、罫線	
	サイズ	標準、横2倍、縦2倍、縦横2倍	
	数字編集機能	- : マイナス編集、, : カマ編集、Z : ゼット編集	
	イメージ	最大 横217mm×縦105mm	
フォーマット定義	DDF	最大 500アイテム 100形式	
	FDF	最大 500アイテム 100形式	
相手先マスタ		300相手先 ※注	
同報用グループ登録		300グループ ※注	
送信方式	方法	自動送信	一括送信
		指定送信	配信原稿のフォームを選択して送信
		リアルタイム送信	ホストからのデータをリアルタイムに送信
	再送	指定回数リトライ 再送の開始ページは最初のページより行います	
送信モード		標準・ファイン	
1回の送信でセットできる件数 (入力データ)		数字 約3000件 イメージ 約300件 (1件24Kバイトとして)	
1相手先に同時に送信できる件数		最大 約100枚	

見出し	明細	備考	イメージ	固定文字
定義番号	定義番号	定義番号	枝番	文字
レコード	レコード	レコード	位置縦	位置縦
項目ID	項目ID	項目ID	位置横	位置横
開始位置	開始位置	開始位置		フォント
縦	縦	縦		飾り
横	横	横		拡大
文字数	文字数	文字数		罫線
フォント	フォント	フォント		
飾り	飾り	飾り		
拡大	拡大	拡大		
数字編集	数字編集	数字編集		

※注

初期設定値の場合の数であり、DISK内の空き容量によって増やすことは可能です。